

掲載号：V o l . 1 8 N o : 2 (4 6)

発行月：平成25年12月



薬剤部 後藤 敏晴



当センターは、脳卒中に関する調査・研究を目的に1968年に開設された秋田駅周辺に位置する病院です。



病床数はSCUや回復期リハ病棟を含む4病棟126床で、現在スタッフは薬剤師8名、助手2名です。

近年は立ち位置を研究から病院薬剤師業務へとシフトし、脳神経・循環器疾患に特化した活動を行っています。

各種調剤機器・クリーンベンチ等はもちろんのこと、電子カルテの導入、各スタッフへのPC配備等、インフラ整備は充実しています。



調剤業務では、認知症、パーキンソン病等神経内科の患者比率が高いため院外処方発行率は50%前後を推移していますが、現在病院として院外処方推進を掲げ発行率を高める努力をしています。処方箋に最新の検査データと腎機能低下時に注意が必要な薬剤の危険度を表示させ、

投与量のチェックを充実しCKD対策にも力を注いでいます。

特徴的な業務として、脳疾患領域におけるPET用放射性薬剤の品質管理や治験事務局として治験業務支援も重要な位置付けとなっています。

チーム医療としてはICT活動（2名参加：加算1算定）やNST活動（1名参加、増員予定：NST加算算定）等に積極的に参画し、特にICT活動では抗MRSA薬の初期投与量設計、TDM解析をはじめ、週1回の抗菌薬適正使用ラウンドで全抗菌薬使用患者の使用動向チェックなどの活動をしています。

また、病棟にも積極的に進出し、現在試験的に急性期病棟に1名常駐、一般病棟では非常駐の交代制をとり、在庫・品質管理、与薬安全管理、持参薬管理、処方支援等を行っています。

課題としては、専門・認定資格取得や研究発表等への取り組み充実、薬学生長期実務実習受け入れ、薬薬連携推進などが挙げられますが、今後ますます病棟業務・薬剤管理指導業務等を拡大し入院業務の充実を図っていきたいと考えています。

